

【②（仮称）堺ミュージアムに求められる役割】

9 堺ミュージアムに求められる役割

収集

博物館の収蔵品の充実を図るため、購入、寄贈、寄託、発掘調査等の手段により、新たな資料を収集する。

- ①持続可能な収集
- ②デジタルコレクションの収集
- ③地域コミュニティとの連携

保管・保全

収集した資料は適切に保存し、**必要な修復をおこないながら**未来へ永続的に伝える。

- ①持続可能な保管
- ②防災策を踏まえた保管
- ③デジタル技術を活用した保管
- ④リスクマネジメントに基づく保管
- ⑤文化財レスキューへの対応

調査研究

文化財に関する学術的な調査研究を行うことで、堺の歴史・文化に関する「知の集積」となり、社会に対する教育的・文化的な貢献を更に高める。

- ①学際的アプローチ、学芸員個々の専門性の強化
- ②地域や市民と共同での調査研究
- ③国際的な研究ネットワークの構築
- ④デジタル技術を駆使した調査

展示

来館者の多様なニーズや技術革新、社会的变化に柔軟に対応し、魅力的な展示手法を構築する。

- ①環境と持続可能性に配慮した展示
- ②多様な視点を取り入れた展示
- ③感情や感覚に訴求する展示
- ④対話型、双方向（インタラクティブ）な展示
- ⑤デジタル展示とオンライン体験

利活用

教育プログラムの開催や研究成果の公表などをとおして、多くの人々にとって博物館が身近で有益な場所となることをめざし、本市に必要な文化施設としての役割を強化する。

- ①地域コミュニティとの連携と現代的課題へのアプローチ
- ③デジタル技術の活用
- ④多様な来館者に対応したサービス
- ⑤観光資源としての活用
- ⑥収蔵品の積極的な活用

教育普及

- ②博物館教育プログラムの充実